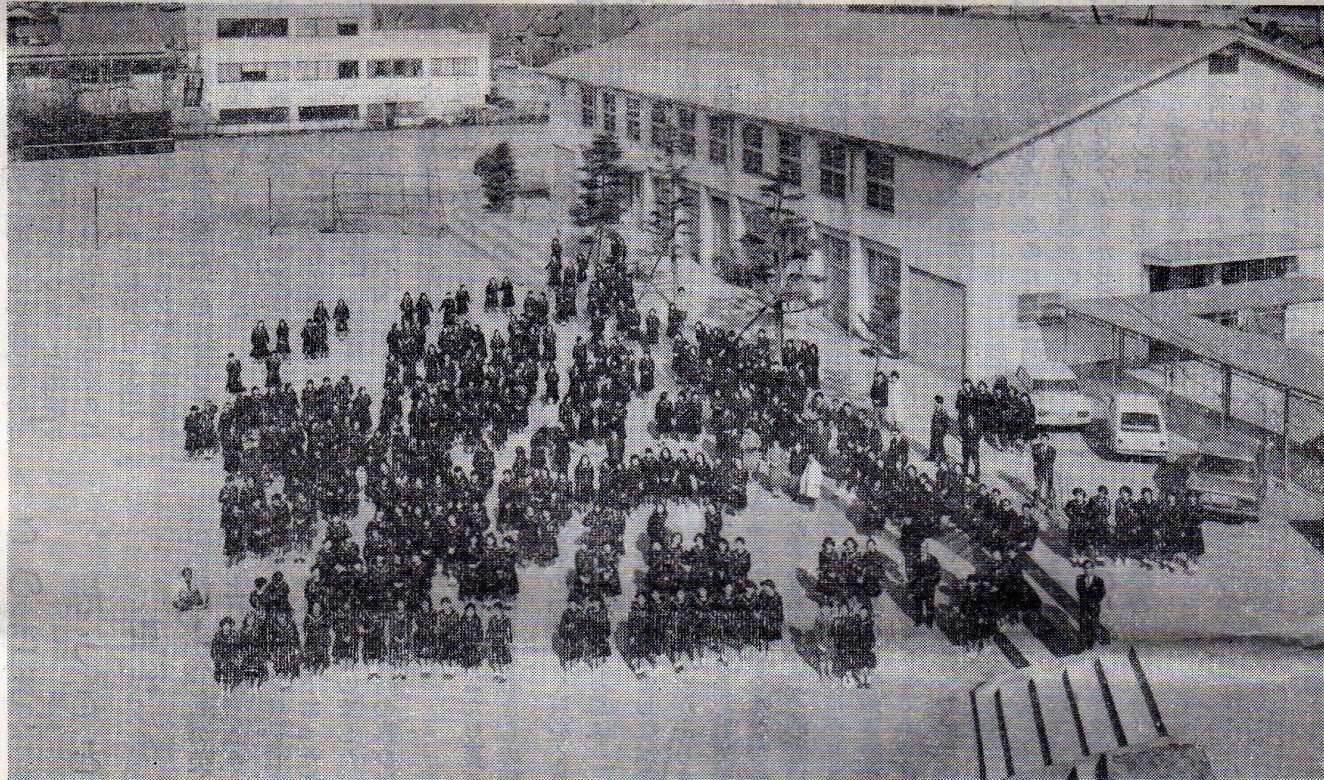


占春会報

1970年4月1日発行

発行 八尾市柏村169-3 八尾市立清友高校
占春会事務局 TEL (0729) 22-2067



喜びに胸一杯の四十五年度卒新入会員のみなさん

ごあいさつ

会長 河合 隼子(村田)

桜花咲き匂う春、四月、占春会
発足後、二十五回目の新入会員を
迎えて、占春会も名実共に立派な
同窓会として、成長して参りまし
た。

前会長に引きつづいて、微力な
私が、会長に就任致しましたが、
幸いにも新役員の皆さんは、な
なかの行動力あふれたベテラン揃
いで、私も大変心強く思っており
ます。

諸先生、前会長羽田さん、旧役
員の方々、永い間ご苦労さま――
会報の創刊、名簿の作成等々、多
くの仕事を完成され、私達は、唯
レールの上を走ればよいようにし
ていただき、ありがたく思ってお
ります。会員の皆さんと共に
申し上げます。

この会の名のいわれ通り、諸先

総会ご案内

新入会員歓迎

四月二十六日(日)

PM一時～三時 於 母校講堂

第一部

富田校長あいさつ

会長あいさつ

新入会員歓迎のあいさつ

議事

新役員紹介

第二部 (余興)

夕鶴

母校演劇部

六段の調べ

母校琴同好会

生方の手塩にかけて下さった私達
を、春のさきがけの、紅白とりど
りに咲く梅になぞらえて、「園中
才子少なし」というなかれ」と祝福
して下さった名付け親の言葉の如
く、現代のきびしい世相に耐えぬ
いて、前向きに進みましょう。

新旧会員の皆さん、色々なご意
見もあることと思いますが、世代
の差をのり越えて、おばあちゃん
も、はつらつとしたお嬢さん方も
ともに、「見て」「感じ」「考え」
とにかく、占春会という会を通じ
て、その人なりに、懐しがれるのも
いいでしょう。又それなりに、意
見の交換もいでしょう。なには
ともあれ、あなたも、私も、占春
会員です。私はただ、この会を育
てて、大いなる占春会でありたい
と思います。

▼今回の総会は、趣きを変えて、
卒業生ばかりでなく、在校生の方
々と合同で行ない、あらたな形で
プログラムを組みました。

▼母校の演劇部は、高校演劇研究
会コンクールに於いて、大阪代表
に選ばれました。

▼在校生の琴同好会の方達によっ
て奏でられる、雅びやかな伝統音
楽を鑑賞致しましょう。

校長随想

外国からの お客さま

富田 八郎

この間、意外なお客さまが見えました。フィリッピンのお嬢さま方十名の来訪です。これは万国博の比国のホステスとして良家の嬢さんを選び、博覧会のお手伝いをする前に、日本の家庭生活をじかに体験させようと、大阪近郊の都市に依頼があつて、八尾市も西沢さん外四家庭に十名が十九日から分宿していました。二十一日日本校へ来られました。

図書室で英語クラブの外希望者

二十名位で迎えました。リーダーのエドナ・クェルトさん始め、ユース・スマートラ・ロドリゲス（ジェーン）カチョー・カパロス・サリエントス・トリヤース・フレルシヨール、など変つた名前の方々の華やかな顔振れです。市の英会話グループの方や、世話係の心遣いもありましたが、すぐ仲よしになり、小グループで活発な話し合い手まねができて、なごやかな空気の中で進みました。丁度、体育館で

は三年生のための会があつたのでこのお客様を紹介しようかと相談しましたら早速OKで、舞台でクエルトさんが全員を紹介（日本語で）して、あとでフィリッピンの民謡をギター伴奏で一曲披露しました。

意外のハプニングに一同拍手がっさい。私は何も出来なかつたので、色紙に「清友」と毛筆で書いて皆にあげましたら、意外に喜んでくれました（毛筆がめずらしいのです）日本に居るうちに毛筆の稽古がしたいとのこと。万国博のフィリッピン館には是非来て下さいとのこと、きつと参りますと約束しました。

昨年はアメリカ・テキサス州の高校生ジョン・ノックス君が来て英会話グループとの交歓会がありました。相手が男の子でしたが、大して盛り上らなかつたが、今度は女性同志という気安さから、個々での話がはずんでいました。

八尾市も今度アメリカ、ワシントン州ベルビュー市と姉妹都市となりました。このため、高校生の交流もあると思われ、本校から又アメリカその他の国へ行くチャンスがあると思えます。今まで日本の中ばかりの事しか考えていなかつた我々が、世界の皮膚の色、言葉のちがう人達とおつきあひをすることがあたり前となります。

このごろ 思うこと

西沢 小枝

去年の秋、えんじ色の美しい名簿が出来上りました。係りの方たちが「女工哀史」と笑いながら最後までやりとげて下さった蔭の骨折りは大へんなものでした。それだけに出来上った時の喜びは格別でした。

占春会の名簿できたり頁ごとによみがへりくる若きらの顔

生きもののごとく頁をくりあつて二十余年の歳月思ふ

占春会のお世話をしながらいつも有難いと思うことがあります。今まで自分のことも忘れてやって下さつた方が、いろいろな事情で出られなくなり、淋しく心細い思いをして居る時、それにかわる方が出て、占春会の仕事が支障なく受けつがれていくことです。私は新旧役員の方々と時々集つて占春会の相談をします。この頃、とかく生彩を失いかけた私が、生き生きとしてくるのはこの時です。

久にあひし人らと今宵あれこれと清友のこと語りあひたり

清友のこと語るときわがいのち燃えつつ生くる甲斐をおぼゆる

私の半生をともに過した清友は、いろんな面に変貌しつつあります。この頃、生徒は自分たちの

要求をはっきりいうようになりました。生徒の要求をきいていく中で、私達はその要求をよく吟味し、おしつけてなく、納得のいくように注文を出したり、考え違いは正しく教えたりしていかねばならないと思うのですが、この私の信念は中々貫き通せません。価値観の違いでしょうか。

古きものみな滅びゆく中にして

軼身のかまへいまだできざる

わがよしと思ふこと生徒等に通ぜざる哀しみ持ちて校門を出づ

「先生といわれるほどの……。」と、ばかにしたい方もありますが、でも「先生」という呼び方の中にはまだあたたかい信頼関係が感じられます。「教師」という語にわるい意味はありませんが、皆の使うこの語のひびきの中には、何かつめたい疎外感と批判が含まれているように感じられます。生徒も私たちのことを教師というようになりませんでした。まだまだ清友はあたたかい方ですが、私達はこれから皆の批判に堪え、その中からほんとうに信頼され、敬愛される新しい教師像をつくり上げていかねばなりません。古い教師像にかわる新しい教師像がまだ私の中で消化しきれず、発酵をつづけているこの頃です。

教ふるは菩薩行よといふ声のみ

うちにきこゆわが嘆くとき

新しき教師像もとめ生きの日のいのちのりつとめむ日々

母校だより

教頭

小西 康弘

寒さもようやくやわらぎ、校庭の川岸べりの桜も、つぼみがほころびる季節となりました。中庭の芝生も生き生きし初め、学校の花壇も園芸部の丹精こめた手入れで色とりどりの花が咲こうとしています。

皆様の母校の校舎は相変らずの姿で立っています。

最近、新聞等できわまっている高校紛争は本校は今の所まきこまれず大多数の生徒は、相変らずのんびりとした高校生活を送っているようですが、しかし全体として生徒の意識は徐々に影響をうけ、変革しつつあるようです。学校側ではいつまでもいまままで通りの指導では、全く時代にそぐわないものとなりますので、できるだけ生徒の自主活動を保障し、健全な意識が育ち、良識ある行動が行なわれるよう配慮しています。

新しい試みとして、一学期末に一年生全員を対象にした野外宿泊訓練（一泊二日、信太山キャンプ場）クラブ活動のための夏休みにおける校内合宿、月一回の全校生徒の自由な討論の場としての全校集会、校外教授における生徒の希望を生かした目的地の選定、行動などが認められ、行われていま

す。更に全校生に対し、人間平等の立場から、いまだに残る部落差別等の現実をふまえ、差別をなくすための同和教育を府下高校に先がけ実施しています。同じ人間でありながらいまだに不当な差別に苦しんでいる人達がいる事を考える時、一刻も早くこの差別をなくす事が私達の責務であると考えています。同窓生の皆様にも、是非これら不当な差別をなくすために新たな認識と努力を特に紙面を借りてお願い致します。

さて職員の変更では、昨年十月中井孝文先生(数学)が着任されました。またこの三月末に、助手の笠嶋せつ子さんが家庭の都合により退職されました。次に今年の卒業式が、二月二十七日に行なわれ、二九七名の生徒が卒業していきましたが、その進路状況を報告致します。

就職者 二〇一名
進学者 九四名
家事従事者 五名

主な就職先
 三和銀行(5) 大和銀行(5)
 三井銀行(4) 富士銀行(3)
 八光信用金庫(3) 日興証券(3)
 資生堂(4) 帝国産業(5)
 東洋紡績(3) 星電器(5)
 三菱電機(3) 田辺製菓(3)
 豊田通商(8) 三井物産(4)
 日商岩井(4) 金商又一(4)
 国分商店(3) 三木楽器(3)

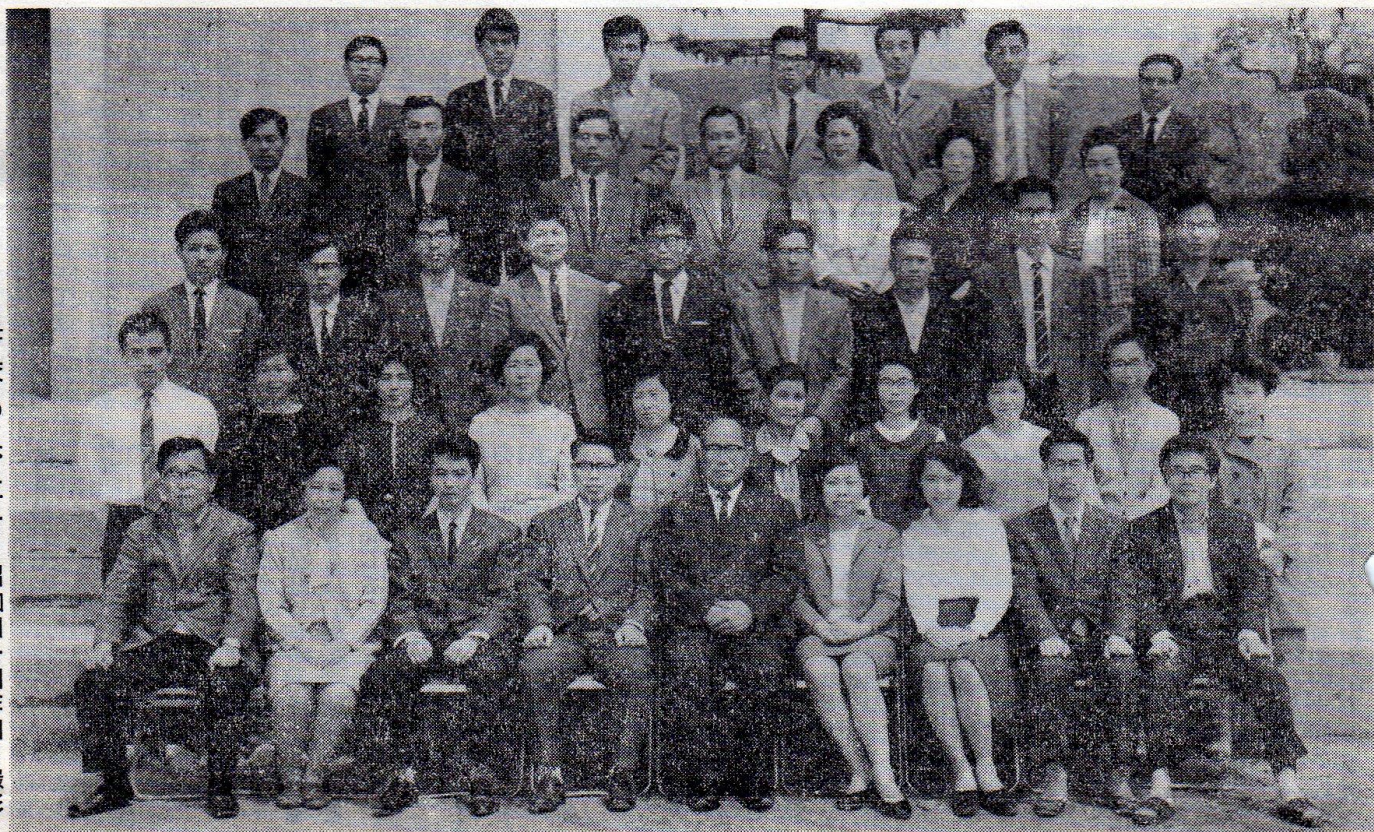
美津濃(3)
 八尾市役所(3)
 柏原市役所(3)
 日本繊維製品輸出組合(4)
 (3名以上の所)

主な進学先

(大 学)
 四天王寺女子大(1)
 帝塚山学院大(1) 樟蔭女子大(1)
 大阪体育大(1) 帝塚山大(1)
 (短期大学)
 常盤会短期大(9) 関西外語短大(6) 武庫川女子短大(4) 相愛女子短大(4) 基督教短大(3) 帝塚山短大(4)

クラブ活動は、相変わらず盛んでそれぞれ一生懸命やっています。その中では、演劇部が高校生の無気力をテーマとした劇で大阪府下で優勝し、近畿大会へ出場しました。また卓球部が府下でベスト4、バレー部が府下ベスト8に入り、いずれも近畿大会に出場し、清友の名前を大いにあげました。

今年は入学志願者が定員二八二名の所へ三七七名もの志願者が押しかけ、府下でも有数の狭き門となっています。清友は一層発展しています。卒業生の皆様、時には学校をお訪ね下さい。



先生の横顔

富田校長先生
 いつもこやかに生徒に接し、よく草抜き等をして校庭を散歩し大変親しみを感じる私達の校長先生です。

小西康弘先生(教頭・社会)
 直接授業は受けていないので、よくわかりませんが、修学旅行の時に歌って下さった島倉千代子の歌が大変印象に残っています。

西沢小枝先生(国語)
 「おばあちゃん」とそっとささやきたくなる先生。でも若い世代には負けられぬとファイト満々。

吉田節子先生(英語)
 いつも笑顔で元気。若い先生方よりも、若い感じのする先生。お孫さんが三人もいらっしやるとは...?

松尾正美先生(家庭)
 ちょっとこわい様で大変優しいところがある。私達のためになる話をよくして下さいます。

安田圭造先生(商業)
 一見気むづかしそうに見えて、とても理解のあるやさしい清友の〃お父さま〃ハスキイヴォイスが魅力的です。

内田孝雄先生(理科)
 あの真面目な顔から冗談が続出してクラスは笑いの渦。何とも不思議な神秘的な先生です。

母校の先生方 昭和四十四年四月撮影

簀喜好先生 (数学)

とても親切にわかり易くむつかしい数学を教えてください。廊下を歩く時は必ず右側通行、角は直角に曲って歩かれます。

原田彰先生 (理科)

「スカタン」と言えば「ぞうばき」と答える。清友名物、ガミガミと怒鳴りながら面白い先生。先生の授業は定評があります。

南条博子先生 (社会)

授業の時、顔を四十五度空に向けて伏目がけで話される先生。美しいソプラノの授業では、居眠りも出来ません。

逸民正剛先生 (保健体育)

さんしよの様にピリツとした先生。勿論スポーツは万能。先生の保健の授業は絶対に内職等出来ません。お家では可愛い二人の坊やのお父様。

岡昌弘先生 (音楽)

どこからか聞えて来る歌声、それが岡チンです。あの大きなお腹からあのきれいなテノールが出て来るのでしょうか。

杉本英子先生 (家庭)

いつも白衣を着て一見女医さんみたい。きれいい好きで整理整頓をやかましく言われます。優しい先生は私達の良きアドバイザーです。

徳田正俊先生 (英語)

清友高校で一番モテモテの先生の授業はきびしさの中に優しさがある。お家には可愛いお嬢ちゃん

やんが一人居られます。

藤岡佐紀子先生 (養護)

保健室ではやさしいお姉様、痛かったお腹も笑顔で直ぐ回復させて下さる先生。運転に気を付けて頑張ってください。

金森保先生 (国語)

いつも非常にゆったりとした感じで、どんな場所でも私達に落着きを与えて下さる。静かに内に秘めた知識が生きている。

三審博久先生 (理科)

大変やさしい先生で、真面目な顔つきで冗談を仰言います。物理の実験は本当に楽しい授業のひとつです。

相馬久敬先生 (理科)

授業中、その日の日付の数の出席番号の人は御用心。先生に指名されます。一日中ドキドキ。美声の持主で、コーラスの指揮もよくなさいます。

中村英明先生 (保健体育)

スポーツ万能。夏は水泳、冬はスキーに年中真黒のクロンボ。みかんは苦手。怒る時は目を三角になさいます。

東国恵先生 (書道)

数年前日展に入選なさった書の大家。生徒の指導に情熱を傾け、且つその余暇に自己をみがいて居られる先生。睡眠時間が気になります。書道の研修のために中国へ行く計画を立てて居られるとか。

山口英雄先生 (国語)

漢文の授業で先生は長沮桀溺の様になりたいと仰言っていました。謡が大変お上手で先生の羽織袴姿はとても素的です。

勇上和市先生 (理科)

独特の歩き方で、独特のしゃべり方で授業をなさいます。高い理想をかかげて、その実現に努力してらっしゃると言った先生です。

金沢とも子先生 (国語)

授業ではよくひびく張りのある声。そして教室外では、明るい笑声。本当に優しい、思いやりのある先生です。

土井絃雄先生 (英語)

校内きってハンサムティーチャー。師弟の関係を保ちながらも物事を一緒に考えていけるいいお兄さん。

坂本康男先生 (数学)

坂本竜馬の子孫、そして坂本九ちゃんに従兄弟かも知れない。真偽のほどは？「そんな事はどうでもええ。放っとけ、く」が先生の口癖です。

畑中秀夫先生 (社会)

一見オッチョコチョイのようなそれでいて素晴らしい思想の持主。私達の心にガッチリ喰込んで来る先生。

上林敬子先生 (国語)

共に考え、笑い合える良き仲間カンチャン。はつらつとした笑顔

が親しみ易く魅力的。

遠藤光子先生 (家庭)

体はやや小柄で、いつも軽やかにはずんで居られる。家庭的な落着いた優しい雰囲気を持ったお姉様。

田井絵乃先生 (保健体育)

先生、先生、何度呼んで見ても先生らしくない先生。時にはあどけない感じさえする。

井上弘之佑先生 (数学)

我等のクウノスケチャン。私達をつかまえて納得のいく迄話をさせられる。その熱意には一同タジタジ。

富田隆文先生 (英語)

ニックネーム「くまごろう」英語もさることながらギターをかき鳴らしてフォークソングとなると抜群です。

下津三保子先生 (美術)

若々しくバイタリテイにあふれ女性の理想の生き方のひとつを身をもって示して下さいなステキな先生です。

樋口全教先生 (社会)

あの神秘的？な笑顔に秘めた、授業に対する、又テニスに対する情熱が忘れられない。

中川淳先生 (社会)

愛称「ジュンチャン」。純真でとても授業に熱心。音楽的才能？に恵まれ、美声の持主です。

中谷昭子先生 (数学)

ガアガアと鳴くアヒル先生。ニックネームの由来は？優しさの中にきびしさを持った理解のあるお姉様。

安田和子先生 (国語)

去年本校へ来られたばかりの優しく美しいお姫様。でも教え方がとてもお上手です。「これこれ、ひとの顔ばかり見つけていては駄目ですよ」

岡部佐内先生 (社会)

か細いながらも中身はしっかりした物を持って居られる。あの歩き方からも、人柄がうかがわれます。

山田邦子先生 (英語)

日本語はたどたどしいが英語を話せばバツグン。その口を見ていると世界が開けた様に思えます。

中井隆夫先生 (数学)

授業は数学ひとすじ。でも何となく私達を笑わせるような雰囲気を持って居られる先生です。

五十嵐先生

授業ではきびしいけれども話をすると、どこかのおばちゃんのような家庭的な雰囲気を持っておられます。

恩師の近況

上原 満先生

教職も十一年目ですが、相変らず現在の学校で世界史を教えています。仮の住居と思っていた大阪も半永住の地となりつつあります。子供(園子三才、孝一才)ふたりの世話に忙しい毎日です。

住所 大阪府門真市下島頭三〇二

三D〇一―一六

電話 〇七二〇―八二一―四四四

勤務先 大阪府立花園高等学校

宗平大三郎先生

占春会の皆様、お変わりありませんか。小生は相変らず元気です。

清友を去ってからまる一年、長距離の通勤にもなれ、新しい学校にもなれました。時々清友へ卓球をしに行っております。お互にがんばりましょう。

住所 八尾市山本町南七―一四九

勇上 淳子先生

占春会のみなさん、こんにちわみなさん、それぞれにご活躍の事と思ひます。私の方、清友を去って早や、二年になろうとしています。男子がほとんどの現在の学校で毎日やんちゃ連中を相手に授業したり、けんかしたりしてすごしているうちに、ますます、女らしく(?)なってきました。そうそう女らしくなりました。母親らしくなりました。報告しておきましょう。昨年九月に長女誕生。誰に似たのか、男の子と間違

えられるようなキ...とした顔をしていいます。(さっそく親バカぶりを発揮してしまつて...) 親が

風邪で寝込んでケロッとしてはしゃいでいるといった丈夫な体質の子で、その点、育児と仕事を両立させていく上で、何よりありがたい事だと思っております。四月からは、保育所と学校と家の間を行ったり、来たりの生活がはじま

ります。育児のために不本意ながら、勤めをやめて行く女教師の絶えない現状の中で、何とかがんばり通して行きたいと決意をあらたにしている今日このごろです。女性が生産を通じて仕事を続けけるには、まだまだ困難な問題が山積されていますが、みなさんと共に、一つ一つ働きつづけられる条件を作っていく努力をしていきたいと考えています。お互にがんばりましょうね。

住所 大阪市東淀川区下新庄町四
―三五九―一五〇五号
勤務先 大阪府立茨木工業高校

赤尾 整彰先生

教え子たちもみんな、人の子の母となったであろう今もなお、当時の清友で結ばれた人と人とのきづなは、高安山の自然とともに、私の心に生きています。

一昨年、生物教育から造園教育へ転向、失なわれゆく人間と自然の復興をねがいつつ、初心にもどって土にとり組む日々をおくっています。

住所 堺市旭ヶ丘中町二―三五
勤務先 大阪府立園芸高等学校

亡き津田精先生の奥様より

占春会報を夫なきのちもお心にかけさせられ、お送り下さり有難く拝見させていただきました。早速に仏前に供へ、その由感謝いたしております。

又二十八年ご卒業になりました和田照子様より、亡夫在りし日をお慰び下さり、ごしんせつのお言葉のかずかず有難くお礼申し上げます。ご住所を探しましたが一寸わかりませんでした。かつてながら幸便に托しまして一言、お礼申しのべさせていただきます。

卒業生の皆様方のご尽力に依りますます盛大に発展せられんことをおいのりいたします。拙なき乱筆にてご免下さい。 かしこ

中岡 博美先生

謹啓 母校占春会の皆様、お元気で、益々ご発展のことと思ひます。

退職しましてより早いもので十五年が過ぎ去りました。家内、子供(長男中学一年、二男今年から対学小学校一年共に追手門学院)との四大家族です。別記のように花と生活を共にしています。花壇洋式庭園の設計等が本職です。せいせいご利用下さい(チョット商売気を出し過ぎたかな)。草花の種子蒔や移植、定植、花の改良のための交配、水やり、得意廻り、農

場廻り等々 台間に沢山の錦鯉を飼って楽しんでいいます。中央環状線鴻池新田、大阪ガス球形タンクの向いです。お通りの節には、芝生でコーヒーでも如何ですか、是非お立ちより下さい。三年前突然左足が動かなくなりしましたが、それもほとんどよくなり、車をのり廻しています。こうして書きながら、ありし日の清友の早春を偲んでおります。

母校の諸先生方、占春会の皆様方のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

勤務先 脚日本花壇経営
住所 東大阪市本庄三島五七四
電話 七八一―二八二〇(代)

西岡 和子先生

会員の皆様方お変わりなくお過ごしのことと存じます。私も退職いたしましたより早一年経過しようとなりました。この間学校経営者として、又家庭に在りては妻であったのが、三月一日、一男の母となり多忙が加わりました。これからも一層すべてに努力いたして行きたいと考えています。

上名の節には是非お立寄り下さい。お待ちいたしております。
住所 名古屋市中川区愛知町二―七―一
勤務先 西岡学園

只今では、会報をいただくのが皆様の様子を知る唯一の機会、楽しみにしております。

昨夏の羽曳ヶ丘へ転居して来ました。この春より一年保育に通う長男(五才)いたずら盛り(二男(一才)相手のあわただしい毎日です。

住所 羽曳野市羽曳ヶ丘五丁目十三番八号
電話 〇七二九(56) 八〇四七

川島 玲子先生

千里ニュータウンに住んで五年になります。今年万博開催で大変にぎわっております。なつかしい皆様にも度々お目にかかれるのではないかと、たのしみになります。

郁子は幼稚園に入り、純子は二才になります。

藤田 静子

(旧姓 佐野)
先日占春会会報第三号発行のお知らせを受けましたが、お返事が遅れました。実は二月二十七日に男児を出産致しましたが、お腹の中での胎児の位置が悪く帝王切開手術を受けました。産後の肥立ちが悪く、気にかかりつつペンを執ることができませんでした。住所は左記のように変り、勤めは去年の四月からやめております。
住所 埼玉県上尾市大字小敷谷字堀込七七の一 西上尾第二団地
一―二八―二〇四 T362

ほつとしたところで

前会長 羽 田 敦

▽新しいスタッフへのバックアップよろしく

稲部さんのあとをうけて十年あまり——同窓会という、血縁にも似た一つのつながりがどうあるべきものなのか、単なる懐古のための集いでなく、明日のためにエネルギーを集結することはできないだろうか——そういうことを考えもし、現実とのギャップに空廻りもし、試行錯誤をくりかえしてきたような気がします。

考え、しなければならぬことがまだまだいっぱいある私たちの占春会……、これまでは会報の發送名簿の作成、そのほかあれこれのめんどうなことは、ごく少数のひとびとの献身的な努力によって、とにかく進行してきました。でもいつまでもそれではならないともいいます。

今期の役員をお引き受けくださったメンバーは、実行力にとんだ頼もしいかたがたばかりですが、このスタッフに、より意欲的に活躍して頂くために、会員のみなさんが全員が、会への関心を呼びおこし、力強くバックアップしてくださるよう、あらためてお願いいたします。

▽会の記録・資料を探しています

残念なことですが、会の記録は長い間に、おりおりの記録担当者の責任感のなさや家庭の事情などで、あちこち脱落しております。ひまをみつつけてこれを埋めてゆきたいのです。

〃棚のすみっこに、ほこりまみれの書記の記録があったワケと思いついたかた、どうぞかえして下さい。またこの二十五年間の会としての動き、行事などについての資料をお持ちのかた、何でもよろしいですからお貸しくください。

▽中学卒業生のみなさんへ

二回目の名簿発行に際して、いちばん気にかかったのは中学卒のかたがたのことでした。当時の先生方も多くは退職なさいましたし殆んど人の消息がつかめぬままにたずねたずねて何人かの住所訂正をしましたが、まだ会報をお送りしたくてもできないかたが多いのです。

いろんなことのある学園時代いっしょに過ごしたあなた方のことを、みんな懐かしくおもっています。母校へ遊びにきてください、占春会に出席してください、住所を知らせてください、おまちしています。

▽ご協力のおかげで

何とかやってまいりました

ふりかえてみると、この何年かは私にとって、どちらかといえば縁の下にひっそりとしていたほうである。自分の性格との戦いでもありました。そんな私を支えはげましながら、大きな仕事のあれこれを完成して下さったみなさんに、あらためてお礼を申し上げます。

いつも何かとこまやかなお心づかいを頂いた西沢先生と吉田先生入会したその年から、一番めんどろな書記・会計を引き受けて手落ちなく進行、その後は副会長として目立たないあれこれの仕事をとりしきって下さった阜山さん・土井さんと、そのグループのかたがた……。名簿の原簿整理から完成まで、まことに地味でしんどい作業を黙ってして下さった寺島さん・松谷さん・科壘さん・田中さん、ダイナミックな行動で、いつも推進力になって下さった現会長の河合さん・副会長の柳生さん・中易さん。
数年間のおつきあい——彼女たちが十三〜十七才、私が二十才という昔のそれ——にギリをたててSOSの発信に応じ、あれこれ手伝って下さった戸口さん・中西さん・松村さん・辻本さん・有川さん・前田さん、そのほかのかたがた……長いあいだいろいろ助けて頂きました。ほんとうにありがとうございました。

清友だより

楽しかった梨園

中西 明子

昨年八月二十五日、夏休み最後の日曜日、占春会リクレーションの集いとして、吉野山麓の梨園へ参りました。

上六、九時集合、総勢四十九名先生方と会員家族連れの賑やかなバスは、繁華な市内を後に一路初秋の大和平野へ。真新しいバスは調節自在の冷房車で、快適そのもの。途中つち音高く変貌しつつある大和路の遺蹟を左右遠くに見ながら、車内は子供達の和気あいあいムードのうちに、目的地大阿太なし園に着きました。

吉野山麓はすっかり澄み切った初秋の閑気に包まれ、たわわに実のつた梨園は山道の両側の丘陵に広がって、誠に、のどかな風景です。先生、会員、子供達も都塵から離れたこの別天地に大はしゃぎ昼食のお弁当もそこそこに、早速頭上の梨をもぎ取り、舌つつみをうちました。

校長先生、愛孫さんと、教頭先

生は御子息さんとそれぞれ嬉しうに皮をむいて頬張っておられました。慣れるに従い、成熟した果実を上手に選び取り、そのみずみ



梨狩り（大阿太梨園に於て）

ずしい味覚を私たちは満喫いたしました。果樹の下であちこち談笑がはずみかけると、やがて時間が瞬くまに過ぎて、それぞれもぎ立ての梨のおみやげ包みを手に手に楽しかった一日の想いを梨園に残し、バスは再び私たちを乗せて、無事帰阪の途につきました。

× ×

生活一面

三十五年卒

山田 豊子

教員生活をはじめ、六年目をむかえたがいまだに満足できなかった。

その理由の一つに家庭中心になりにくいことがあげられる。そんなとき男の人がうらやましくて涙さえ浮ぶことがある。

理想というか、自分でこうありたいと願うことは、家庭では女として、妻・母の座を守り、学校に出勤と同時に社会の中の一人間として、天職として信じる養護教諭の座を、子供の頃からの念願だった、へき地で役立つ人間、そして愛を信条に、がんばり守りぬきたい。この理想は今後も変らないだろう。しかし現実には苦難の連続、例えば、自分の時間は夜十二時ごろでなければ得られない。床の中で一日の反省するに過ぎず、時にはあまりにもみじめでなげなく眠れぬ日もある。翌日の勤めは苦しい。また、職業を持つ婦人がさけることのできない共通の悩み、それは母親として子供にあたることのできる時間が少ないことだ。

病気の子供を他人にあづけて出勤した日には、泣き声が耳について離れないこともある。最近では、夫に対しても妻らしいことができぬばかりか、非協力的なんだと思うことが多くなってしまう。

学校にあっても人間関係の面で自分の職務以上に悩むことも、多い、ほんの一例だがこのような状態が続いた時、心身ともに疲れ果てもう生甲斐を感じることもなく目前は暗黙に思えた。

でも、今は長男の保育園の関係で、毎週日曜日教会礼拝に参加することにより、一週間の精神的重荷を強く感じられるが、礼拝後のさわやかな自分を見出すことができ、感謝の気持ちでいっぱいだ。

共稼ぎ生活が続けるためには、お互いに人間成長ができなければいけないと思う。

これからも常に前向き姿勢で毎日を過してゆきたい。

「じよりとわたし」

二十三年卒

中易 敬子

毎年七夕祭が近づくと必ず今は亡き浅井重次先生をなつかしく思い出す。

仕事柄、七夕様の製作のあと、こよりを各家庭から持って来させると、大発見や「ぐ」と叫びたくなるようなこよりが半数以上、もつとひどいものになると紙ヒモをブツ切りにした代用品まで現われる始末。子供達も心得えたもので、カッコイイものから使い代用品まがいの物には目もくれない。

最近の若い親には、こよりを満足に作れなくなつたと嘆きたくもなる。かくいう私もその例に洩

「今日のころ」

四十年卒

森本 絹代

いつの日からか、私とは離れて考えられないものが、二つあります。

それは、好きな食物や好きな人ではなく、「山」と「本」です。けれど、いくら私が片恋の如く思いつめてみても私には、人に自慢できる体力・根気があるわけではありません。

月二日は山に入り、一日も本をばなしたことはない私には、思いつくままに「いっちょやったる」と力んでみても自分のペースというものができてしまっています。

彼ら、ふたりはいつも私が誰であるかということを、教えてくれます。「己知」好きなことばです。

けれど、こんな風に思えるのも私の生活がある程度保障されているからでしょう。会社勤めもうまくいき、帰る家があり、そこに家族がある。それだけでも幸せだと満足しないといけません。

ピアフラの写真を見た時など、これが現実なんだとわかっています。目をそらします。あの人たちから見たら、本を手にするだけでも、せいたくなことかも知れませぬ。もっと、自分のまわりをよくみて、自分の立場を理解しないと、最近思っています。

「病に倒れても」

三十年卒

有川 育子

幸せ薄い人達よ

今日ある私を見て下さい
学窓巣立ってわずか半年
夢多き青春に
名もわからぬ病にて
春過ぎ夏すぎ 秋来ても
身体は細くなるばかり
寝たまま食事も上手になり
鏡に映る景色にて
自分を慰めはげまして
とうとう冬が来るらん
お医者がいふことは
病が治って起れても
足動かずに片輪になり
一晩泣いてあきらめた
学生時代だけでも

私は、今、家も家族も捨てることを考えています。
ひとりです。けれど、これだけやれるか試してみたいのです。これは二十三才の女の子の考えることではないかもしれませんが、二十三才の人間として生きることはどんなことかひとりになって考えてみたいと思います。

まともに送れたこの身体
先生 友達 想い出が
私の頭を駆けめぐる
運動会に文化祭

バレエボールにバスケット
もっと欲張りしたかった
でもどうしようこれからの
私の支えはなんだろう
不安と孤独にさいなまれ

やっぱり死という事が思われる
でも待てよ……

お目の悪い人達の事を思えば
何のそのこんな事位でくぢけず
四季の花見て空を見て
雨あり雪あり風ありて

どっこいここで起き上がれ！
ああ少しづつ身体もよくなった
始めて歩いて号泣し
始めて歩いて号泣し

でもやはり片輪になっちゃった
さあこれから人生のやり直し
頑張らなきや 駄目だよと
いい聞かしては見たけれど

色々苦しい事が押し寄せる
幾年幾月頑張って
やっと笑がほほに浮かんだネ
もう大丈夫 安心して

どんな嵐がふいたって
びくともしないはこの心
不幸なんかくそくらえ！

占春会に仲間

入りして

四十五年卒

新岡 加代

二月二十七日、在校生に見送ら

れて清友を巣立った私達二百九十
七名は、同時に占春会員となり、
新しく先輩方の仲間入りをさせて
いただくことになりました。これ
からは、実社会や新しい学校でお
話になるかもしれないが、先輩
方に、同じ占春会員としてお目
にかかれることをたいへんうれしく
思っています。

清友を去った今、三年間を振り
返ってみると、楽しかったことや
うれしかったこと、また残念だっ
たことなどが、さまざまに思い出
され、ほんとうになつかしく感じ
られます。ともに力を合わせた体
育大会、自分たちの手で作りあげ
た文化祭など、まだまだ問題点は
残されていますが、実に楽しいも
のでした。また、ホーム・ルーム
やクラブ活動での思い出もつきま
せん。

思えば、高校時代には、自分の
力を伸ばせる機会が数多くありま
した。この三年間で、どれだけの
ものを得ることができたのか、そ
れは個人によって違うでしょう。
しかし、みんなで力を合わせてひ
とつものを作りあげることのす
ばらしさ、その団結の力でなしと
げたことの思い出は、青春時代の
一ページを飾るものとして、いつ
までも忘れずに、いたいと思いま
す。

職場や新しい学校でのこれらの
生活には今まで経験したことのない
ような、苦しいことがあるでしょ
う。いつまでも清友での思い出は

かりに浸っているわけにはいかな
いと思います。清友をなつかしが
って振り返ってばかりいてはいけ
ないのです。しかし、そんな苦し
い時こそ、清友でぶつけた若さと
ファイトを思い出し、それによっ
て自分を励ましていけるようにな
りたいと思います。先輩方が毎年
歩いてこられた道を、私達も負け
ずに、力強く第一歩を踏みだして
いくつもりです。

思い出多い清友を後に、社会に
飛びだしていく私達。これからは
清友で学び得たことを基礎にして
考え、行動していかなければなり
ません。そして、占春会員として
これからも清友の発展を見守って
いきたいと思えます。

同窓生と互いに励ましあうとと
もに、先輩方とも交流を持ち、い
つまでも、清友の卒業生である誇
りと自覚を持てるようになりたい
のです。そのために、これからは
占春会で少しでお役に立ちたいと
思っています。よろしくご指導下
さいますようお願い致します。

会報に寄せて

二十三年卒

一色 俊子

嫁ぎ先の氏名まで、お聞になっ
たのか、ともかく、びっくりしま
した。

学校を思い出します、私の妹の
嫁ぎ先が八木の一つ目の耳成にい
ますので一ヶ月に一回、又は二ヶ
月に一回は上六から高安を通って
行くたび高安と恩智の間から学校
が前に見えていたのに二十年も過
ぎると住宅が建ちならび学校が見
えにくくなっています。でもなつ
かしく、そこまで来ると「南にか
すむ金剛や北に四条畷、見ると
車の中で附近の人にかまわず、口
に出してしまいます。「梅と水とに
かたどれるわが学園の教えぐさ」
と私は母校の校章が好きでした。

生田校長先生、山家先生、永井
幸次、潔先生、受持の斎藤先生、
尾崎先生、西沢先生と写真で見な
がら昔をなつかしく、二十年若返
ってもう一度学校に行きたい。西
沢先生がいらっしゃるとは夢に
も思いませんでした。お会いした
いわ。今は私の主人も四十一年二
月十二日胃ガンでなくなり、私と
長女六年生、次女四年生の二人の
子供と共に生活をしています。

占春会報二号の中に、いろいろ
なつかしいことばかり書いてあり
同級生の方々にお会いし、又お手
紙を出したくお手数とは思いますが
が第三期生の住所書がありましたら
お送り下さいませんか。

五年程前に長女が学校の遠足で
南海線の狭山遊園に行った時、私
も次女を連れて行ったのですが、

その時青葉幼稚園と書いた園児の
中に中易さん姉妹が先生としてお
られるのを見ました。

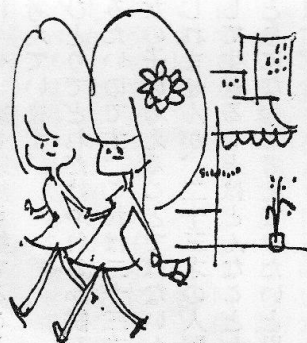
保護者に聞くと中易先生で姉妹
の先生と聞き、お話に行こうと思
いましたがいそがしうで、お話
もしませんでした。

占春会二号の中に書いてありま
した八月二十五日の梨狩りに子供
を連れて行きたいのですが、勤め
ていますので、どうしても行けま
せん残念です。

二十年も過ぎると先生方も皆変
られていられるだろうと思っていま
しだが西沢先生がいらっしゃるので
なつかしいですわ。自分の母校が
残っているという、気持ちになり
ます。突然のお便りで何から書い
てよいかとにかく同級生の皆様の
住所だけが知りたいので、くれぐ
れもよろしくおねがいします。

今度妹の家にいく時は高安で下
車して、そっと学校をのぞいて見
ます。そして西沢先生にお話した
いと思っています。

では皆様先生方にもよろし
くおつたえ下さい。



二十六年卒

河村 智子

はるばる釧路迄、会報を送って下さりありがたうございました。私が蒸発者になつてゐることを知り、筆を取りました。主人の勤めの関係でこちらに、一年半前より来ております。主人は北海道拓殖銀行につとめていますので、大阪京都、札幌、釧路と転々として、参りました。子供も高校一年生、中学一年生、小学校四年生となり高校一年生の娘のお友達集まり等を見るにつれ、大阪を遠く離れている今、故郷を思い出します。今又、会報を手にし大津先生のなつかしい写真を見し永井先生の近況等本当になつかしいです。私は二十六年卒業です。

のあまり筆をとり、失礼いたしました。

住所 釧路市新川町十四の十一

会報第四号への

いざない

昭和四十三年にうぶ声をあげました占春会報は、会員皆様の協力で三号を重ねました。一号を出すともう次の号をどんな形にしようかと、編集子は気をもんでいる次第です。

そこで次号は「先輩・後輩」というテーマで、楽しく読みごたえのあるものにしつたいと考えています。清友という縁の糸でつながれた先輩・後輩が思わぬ所で巡りあい、懐しい思いを交しあう折も多いことと思ひます。

同じ学校や職場でめぐりあつたり、住居が近くになつて市場で一緒になつたり、同じ団地に住んだり、新しく親戚になつたり……等々、いろいろ楽しいめぐり合い、交歓があると思ひます。何れそのうちに原稿をお願いします。どうか考えておいて下さい。

なお原稿をおよせ下さいませ時は、四百字詰原稿用紙にお認め下さいますようお願いいたします。

会報の発送と名簿作成

学校出てから二十有余年、同窓会の成立ちも何も知らずに送られてまいります会報その他のおたよりに目を通しておりました。

二三年前の或る日、前会長の羽田さんより「第一期生の回期代表になつてよ」とのお電話を受け、「名前だけでよかつたら。：何のお役にも立ちませんよ」と気軽に引受けしてしまいました。ところが去年の四月召集がかかり初めて役員会に出席致しまして、会長様はじめ西沢先生、吉田先生、皆様方の蔭のご苦労を知り、私も何かお役に立てたらと生来のオッチョコチョイがチョコッと顔を出したのでございます。

そこで名簿の編集という大役を尤もこの時はそんなに大役だとは思つていなかったものですが、やりかけてみますと想像以上に大へんなお仕事でした。女にはある時期、姓の変更にもなつて住所の変更がとて多くそれを母校あて知らせて来る人の少ないことも知りました。

折角一冊の名簿にするのですから一人でも多くの人の完全な住所をのせなければ……と張り切りまして。各回期代表の方々にいろいろご協力頂き、六月に会報を発送致します頃には何とか目鼻がつ

きました。何しろ三千五百通ですからそれは大へんでした。手分けするにもこれといった方法も見出せませんので「ええいままよ」と夜を日についで書き初めました。ご近所にいらつしやる同級生の科塾さん、二期下級の向さんにもお願いしました。高二になる娘も見ると見兼ねたか「お母さん書いたげよか」と助けてくれました。宛名書きの出来た封筒に会報を折つて詰める作業は一期生の羽田、中野、科塾矢野、寺島、三期生の向さん達に応援を求め狭い我が家を見る見る封筒の山で埋まりました。

羽田前会長とやつの思いで運び込んだ郵便局でまたまた「料金別納の判を押して下さい」と云われた時は泣きたいような気持ちでした。その上のせた秤の目盛が十五円と二十円の間を上つたり下つたり二十円頂きます。「いやー下つた、下つた。さっきから汗をかいて判を押した努力を買つて十五円にしといてよ。予算の薄い会なのよ」「しよないな、もうええ、ほな十五円にしときます」郵便料を値切つたのはこれが生まれ始めてです。さて、総会の当日となり朝早くから母校へまいりましたら西沢先生が「こんなに返つ

て来てますの」と二百通ばかりを下さいました。その分の原簿の訂正も終つてやつと印刷の段階にこぎつけたのが八月の一日でした。学校の方へ届け出られた住所の変更はその都度西沢先生がお世話下さり、広告の方は吉田先生が御尽力下さり何よりの資金源となりました。本当に有難うございました。その後二度ばかりの回期代表の者が集り、校正の末印刷されたのです。表紙は本立に立っていても、机の上に積まれていても、よく目立つようにと真赤にしました。

九月十三日出上つた名簿を手にした時の感激。今までの苦勞は一時にフツ飛んだものでしたが、あれから半年、早や西沢先生のお手許の名簿は賑々しく訂正されております。

ご結婚、ご転宅により住所が変られた場合は区役所へ住民登録をされると同時に母校の方へもお知らせ下さい。各回期に不明者のなくなる日を夢見ております。

係 寺島・松谷

送致します頃には何とか目鼻がつ



二世誕生

籙 喜 好

出生の日 昭和44年5月22日
性別 男 名前 敏行

一人め女、二人め男という僕の希望どなりに生まれてきた敏行は会報が発行された頃はヨチヨチ歩きをはじめているだろう。姉の千裕が大型なのにこの子はチビッコで、何でも口へ運ぶのがクセ、風呂では両手で湯をたたいてはしゃいでいる。

誕生のときの嬉しさがじつくりと湧いてきたように、この子がどんな人間に成長し、自らどんな道を選び進んでいくかを期待しながらゆっくりと見守っていきたいと思っている。

原 田 彰

ボヤツと八尾の市役所の戸籍係の所で入籍のために待っている時テレビは人類初の月世界を歩く実況放送をやっていた。結婚にしても出産にしてもこのジャマクサイ手続きがたまらなく感じられる。

うちの雑種第一代の第一号は44年7月15日に生まれた。なまえば自分で付けて一生その名前で支配されるのかと思うケツタイな気なで、私のオヤジに頼んだら「聡」とつけてくれた。だから男。

市役所で耳へんが下の横棒がつきぬけるとかぬけないとかいうのでどっちでもいいといったら指定漢字の方にするといい。なんて漢字でわざわざらしいのだろう。近頃はもうポツポツ持てあまして、わずらわしい。体は大きく伸びすぎ、できたらもう一人、相手を作

って、子供らで勝手に育ってくれたらと思っている次第。生むのはこっちはないけど口が増えること安月給ではどうなることやら。

ウエデングベル

中井 孝夫

昨年十一月に結婚してから約四カ月になります。けれども実際は事情有って別々に生活した期間の方が長く、一緒に居たのは一カ月余りです。今までは別れたり一緒に居たりの繰り返しで落着かない日々でしたので、結婚しているという実感が余りなく、結婚の感想は、と言われてもピンときません。

結婚して早々に東と西に別れての生活は精神的にも落着かず、身辺においてもいろいろ失敗したところが有りました。

しかしこの期間はいろいろ考えることもでき無意義ではなかったと思います。これからの我々の生活は楽しい事ばかりでなく、山有り、谷有りの険しい旅路です。

互いに協力し健康で明かるい家庭を築いていきたいと思っています。といってもマイホーム主義に徹しようとは思いません。

ク...ラ...ス...会...だ...よ...り

二十年卒 い組

日時 四十五年一月十九日

会場 住之江荘(電々公社寮)

出席者 入江、安座、六島、森田、津田、清水、谷口、大道

高浦、小林、中野

出席者の中の高浦さんが、新東洋で呉服の展示会を開いておられる最中でしたので、一同で連れ行つて頂き、目を楽しませて頂きました。

二十一年卒 い組

日時 四十四年十一月十五日

会場 大乃や

世話人 中井、茂莉

出席者 稲部、中井(平原)、茂莉(坊中)、山中(西尾)、小野(中野)、渡辺(永井)、坂口(成川)、野田、宮本(義若)

河合(村田)

卒業後十年目に、故錦織先生のお宅で第一回級会をひらき、やっ和二回目の級会を、大乃やで致しました。とかく、集まりにくい回期でしたが、徐々に連絡がとれ始め、集まってみれば、それぞれに昔の面影が残っていて、先づ御子達の話やら、女学生時代を、回想して話話……時間のたつのも忘れての集い、又の再会を約して別れました。次の集りが楽しみです。

二期生い組の皆さん、来年度はもっと集って下さい。

係 中井

二十一年卒 る組

昨年は夏休みを利用して、い組の方もよせて合同でクラス会、秋には二十年振りに顔を見せる梶川さんのために。年は取るほどにクラス会って良いものなのですね。遠い日の郷愁なのかも知れませんが、昔も今も一向に変わりばえのしない私ですが、あつと驚く何とやら板についたお母様ぶりのクラスメイト、でも同期の桜です。キャーキャーとそのさわがしいことつたら、しかしクラス会ならではの楽しい風景です。

古えのことを追ってみても……なんて言わないで、たまにはこうして逢いましょう。

おしゃべりがご馳走なんです。うれいときもクラス会にお顔をを見せて下さい。

お所の分らない方は教えて下さいね。

お誘いをかけたら来て下さい。今度はいつごろがよいでしょう。

大阪市旭区貝脇町二九
山口久子まで

二十三年卒

日時 44年7月28日(月) 快晴

会場 心斎橋 東天閣 六時

幹事 柳生和子、中易敬子



十八年ぶりのつどい

西沢先生、尾崎先生を囲んでなつかしい昔話に、花を咲かす。二年の時に転校された松本さんや、東京から西村、山崎さんがわざわざ来阪、レギュラーメンバーに、石崎、高井、山崎(南賀)、可児(望月)、大坂(大内)、柴田(山畑)、佐藤(北条)さんらも加わり二十四名のたのしい集いとなった。今年も夏休みに計画の予定、皆さんの参加をたのしみにしております。

二十六年卒

顔を集りになりました。担任の榎根先生にも出席していただき、久しぶりの名調子を拝聴しながら座っていると、なつかしい学舎での日々が目に見えようでした。昼食後、あちらで五人、こちらで七人とテーブルをかこみながら女学生の昔に帰った様に、にぎやかなおしゃべりで時のたつのも忘れ十数年の歳月がどこかへ消えてしまったようにおおいに若返り、さわやかなそして満ち足りた気持ちで再会を約し、午後四時散会致しました。

二十六年卒

日時 昨年6月22日(日) 12時

会場 信濃橋・広州飯店

参加者 十名

世話役 中村雅子、巽政子、岸本家代子

大津先生を囲むクラス会

一昨年十数年振りの顔合せ後、一年振りの再会。この度はお互いの家庭生活の中身に立ち入って話し合いました。遠い転勤先から再び大阪に転動になってご出席されるなど珍らしい顔ぶれの方もありました。

物故者

昭和三十二年 市立高校第一回

卒業生 河南洋江(前田)

二十八年卒

日時 44年9月21日(日) 1時

会場 母 校

残暑の候、なつかしい母校で、二十五年中学終了者と、二十八年高等終了者との合同のクラス会を開きました。

今は亡き津田先生は、如何んともし難く……。鉄谷、吉田両先生が出席下さる。内海先生は先約のため残念ながら欠席、出席者は三十人位でしたが、出席できない事を残念がって下さった方も多く、特に中卒の方が出欠に関係なく、われわれの主旨を非常に喜んで下さったのが、何よりの収穫であったと思います。

とても和やかなたのしい会でした。次回からは、何をしても大いに出かけましょう。

二十九年卒

十一月七日、布施「すし清」

今回の会合は……、本当に会合なのです。同窓会と言えるようなものはありません。

新らしい名簿が出来ましたのでそれをみなさんに渡す意味と、集った人達を通じて、様子のわからない人の事が、少しでも知れたらと思つたものですから、連絡のとれる方達だけ、お知らせしましたのに、なんと三十一名も集りました。こんなに出席が多かつたのなら、先生方にもご案内をしたらよかつたと思つた。今度は本當に同窓会(子年会)をしたいと思います。四月の総会の折に、学年会を致しますので是非皆さんご出席下さい。

かつたと思つた。今度は本當に同窓会(子年会)をしたいと思います。四月の総会の折に、学年会を致しますので是非皆さんご出席下さい。

(出席者)

亀井愛優(飯尾) 山田重子

(岡本) 柴田明子(啓子)

川田和子、梶原明子(清水)

鋤本一子、渋谷信子(正田)

青木弘子(高田) 米田記子

(上田) 岡本和子(中西)

田中和子(畑中) 宮崎伊都子

佐伯信子(渡辺) 打谷信子

(谷村) 高萩通子(畑中)

以倉芳子(松岡) 池田佳子

(加藤) 辻田敏子(西田)

平岡禎子(辰巳) 赤坂栄子

(杉野) 西浦照子(石原)

藤田美智子(前田) 時野初子

(本間) 佐礼尾弘子(時野)

近藤勝子(中沢) 黒見利津子

(東) 塩田国子(中野)

黒岡順子(藤原) 見上テル

(北川) 大東エチ子(清水)

鏑木康恵(田中)

三十年卒

昨年十一月三十日私達にとって

は十四年振りに家庭科普通科合同の同窓会に出席させて頂くことが出来ました。三十年三月卒業以来のことです。思いがけなく連絡を受けた時のこの上ないよるこび懐

しい友の笑顔、喜び勇んで小雨降る中、布施駅前「晴」という料亭に着きましたそこには、おなつかしい西沢先生始め、松尾先生、吉田先生、中本先生方早くもお見えでした。

夢にまで見た友の顔が目の前に何から話したらいいものか、ここまで来るのに、これ迄、色々気をくばっていたいた陰の力があればこそ、それぞれ口には出さずとも、心で感謝したことでしょう。

諸先生方の大変ご参考になるお話、同期代表の有川さんの「どうぞごゆっくり、皆さんに逢えてうれしい」と後は涙で声が聞えませんが私も感無量になり、涙がほほを伝いました。久しぶりで命の洗濯が出来、時がたつにつれ、心はやはり学生時代に返り、話に花が咲き遠慮なく大声で笑い合ったりし、友情を暖めるのに貴重なひとときを非常に有意義に過ごすことが出来本當に出席してよかつたと、又明日からの生活にも何か力強い張りをもたらししてくれるような雰囲気にも包まれた感じがしました。でも少し淋しく感じたことは家庭科の方々が少なかつた事です。

私は同じ学校を卒業したら皆んな友だちと思つています。逢えば話も合いますし、それに十年一昔といひます。どうぞ家庭科の方々の今度の同窓会の折は是非多くの方々にお見えくださるよう普通科の一員としてそれを願つていま

す。これまでにお世話頂いた有川さん、前田さんその他の方々に今回はどうも有難うございました。厚く御礼申し上げます。

終りに何かのご都合で出席されなかった人、次回は是非明るい顔を見せてくださるよう、それが、せめて亡き恩師川畑先生にかなたより見ていただきたいと願うのです。皆様方のご健康とご幸福をお祈り致しまして、筆を置くことにします。笠谷和美(旧姓山口)

三十年卒

年の瀬も押し迫まり、あいにくの吹き降り、普通なら気のめいる日曜日。でも私の心はバラ色でした。最初の合同クラス会、きつと欠席者も多いだろう、そんな気持ちで晴寿司へ着いた。定時刻にピタリと合わせた顔、顔、顔。

私達は十四年ぶりの普通科の方々の再会、普通科と家庭科、そんなことはどうでもよかった。すぐひざごさうをよせ合って語り合った。長いおさげ髪、藤棚と古井戸で肩を寄せ合って水くみをした友ばかり、西沢先生、吉田先生、松尾先生もおばあちゃんになられたとは夢の様、正直いって、ずっとお若くなられ、かえって私の方が頬に手をあて、がっくり……。日常茶飯事に追われ、多忙という日を忘れ、その日の頃の想い出を語り、田園のどかで美しかった

並木道、木蔭の有ったテニスコート、総べて美しくそれぞれの胸の中に、宝物の如く刻みこまれていく。

私の娘も、時代こそ変れ、あの校風の残った学園に入学出来る様応援している。一生懸命、主婦として日常がんばり、又のクラス会を楽しみに待ちこがれている。

(中村伊佐美)

三十一年卒

日時 44年6月 1時〜4時
場所 母校 作法室
幹事 永田 靖子
出席者 (三十数名中)

卒業以来、十余年ぶりのなつかしい集りでした。お天気にも恵まれ、美しい中庭で子ども達も大変よろこんで、親子共にとても良い集りでした。

☆ ☆

三十三年卒

日時 44年10月19日(日)
場所 酒井家
出席 五名

松尾先生が、あいにく法事のため欠席、参加者も少なかったので止むを得ず、酒井家を会場にする。

少ないながら、たのしい集りであった。

三十七年卒

日時 四十四年八月
会場 喜楽別館
会費 一五〇〇円
出席 二十名

又、今年も開きたいと思っております。大勢の参加をお待ちしております。

× ×

四十二年卒

日時 44年11月9日 9時30分
会場 枚方 菊人形
出席者 十四名
幹事 片山妙子 永井貞子

京橋駅で落合、枚方パークへ向う、菊人形見物もそこそこに、バラ園へ座り込み、いろいろとたのしい語らいが続く。名残りを惜しみつつ又の再会を約して散会。

* * *

四十四年卒

日時 四十四年夏
場所 須磨離宮公園
出席 十五名(四十六名中)
幹事 豊口 美智子

卒業間もない夏、須磨離宮公園を遊びました。景色も大変良く、噴水がとても美しく、申し分のない良い所でした。

新役員紹介

会長	(21年卒)	河合 隼子 (村田)
副会長	(23年卒)	柳生 和子 (上田)
副会長	(23年卒)	中易 敬子
書記	(20年卒)	松谷 照子 (本田)
書記	(20年卒)	寺島 悦子 (羽原)
書記	(26年卒)	中西 明子 (宮本)
会計	(30年卒)	有川 育子
会計	(30年卒)	前田 千恵
理事	(20年卒)	羽田 敦
理事	(21年卒)	稲部 恭子



編集後記

▼お待ち兼ねの第三号も愈々発刊できる運びになりました。これもご多忙中ご寄稿下さった方々のお陰と感謝いたしております。

▼この会報も年々増加し、今回は三千七百枚の発行になりました。

▼会員の心のきずなどとしての役割を果す年一回の会報に、皆様方の嬉しい事、楽しい事、云いたい事何

んでもどんどんお知らせ下さい。▼昨年、皆さんの手許に渡った、名簿の中で、誤字が出て来ましたが、皆さんの中で、回期代表の方達と連絡がとれず、そのまま印刷された人もあります。

▼今後、訂正の場合は、各回期代表まで、お申し出下さい。次号名簿にて訂正致します。(四十九年発行予定)

▼前号担当者よりバトンを引きつぎ、編集部は一年生ばかりで、やっと発行の運びとなりました。お目だるい点はお許し下さい。

編集委員